

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	母子生活支援施設 倉敷市鶴心寮
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市栗坂 8 番地 名称 社会福祉法人 クムレ 代表者 理事長 財前 民男
(3) 公の施設の所管部署	保健福祉局子ども未来部子育て支援課
(4) 評価対象期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>指定管理は通算 14 年目であり,引き続き安定した施設運営を行っている。</p> <p>今年度は,事故防止及び防災防犯,入所児童への生活支援,アフターケアを重視して評価を行った。</p> <p>事故防止及び防災防犯については,マニュアルを整備し,救命救急講習の受講や毎月の避難訓練実施などにより,入所者の安全確保に努めている。</p> <p>入所児童への生活支援については,より効果的に児童の生活支援,学習支援を行うことや児童の自主性を伸ばすことなどを目的とした,様々な自主事業を行っている。また,児童が学校園からの帰寮後におやつ時間を設け,児童と個別に話しやすい場を作り,児童の支援につなげている。</p> <p>アフターケアについては,退所者に限らず,一時保護利用者からの相談も受け,訪問や同行支援等を実施している。また,行事の案内などを行い,行事に参加することで寮に来やすく,相談しやすい場の提供を行っている。</p> <p>指導監査課による監査においては,児童福祉施設の設備及び運営に関する基準に基づいた施設運営を行っているとの評価を受けた。</p>	総合評価
	S	

	<p>また、入所者との面談の際に確認したところ、施設職員による運営及び支援については、満足であるとのことであった。</p> <p>今後も引き続き、入所施設であることを活かした支援を積極的に行い、入所者の自立を促していただきたい。</p>	
(2) 指定管理者の自己評価	<p>自立支援では、前年度に引き続き、福祉事務所やその他関係機関と『顔の見える関係づくりを』を構築することを意識して、利用者支援におけるツールである改定したアセスメントシート、月間支援計画表の様式について相談、意見を仰いだ。</p> <p>自立が困難な世帯に対しては、関係機関と細やかにやり取りし、機関ケース会議で、顔を合わせて利用者支援の役割分担を行うことにより利用者が支援を受け入れやすく、かつ、自立の一步を踏み出せるきっかけになった。</p> <p>児童の支援では、自主事業であるおやつ提供、長期休暇には学習支援として宿題の見守りを行った。また、子どもの会では、年間計画を立案し、生活課題であることを取り上げ、半年ごとに2つのテーマ(①お金について②自分を大切にすること)で子どもに伝え、子どもの自己肯定感の回復に繋げることを目的に取り組んだ。子どもと職員の『個別の日』では、子どもがやりたいことを自ら遠慮なく言えるように配慮し、実施した。</p> <p>人材育成では、職員各々がキャリアアップの目標に沿って法人内、外部研修に参加した。研修で得た学びは、利用者の地域の支え手である法人内の児童家庭支援センターと共有した。</p> <p>施設整備においては、入所世帯が増えることで、給湯器、換気扇設置を市と法人、双方で整備することにより前年度より2部屋入所に対応できる居室を整えることができた。</p> <p>ボランティアの活用としては、前年度に引き続き、園芸療法士が定期的に来寮し、季節の花や、野菜の植え付けを利用者と一緒に行い、自分で手掛けた物を行事での食材にできた。また、職員も園芸からの利用者支援について学ぶ機会になった。学生ボランティアの来寮もあり、子どもの学習支援や遊びに関わってくれたことにより、子どもにとってよいロールモデルとなった。</p> <p>アフターケアでは、前年度『アフター支援担当』として母子支援員から1名、明確に位置付けしたことにより、入所から、入所時、入所中、退所後と、支援の流れができた。このことにより、退所後も地域で暮らす気になる退所者の様子を定期的に把握することができ、今後は更に、予防的視点での支援に繋げ</p>	

	<p>ていく。</p> <p>その他，地域住民との関わりでは，町内清掃への参加，町内行事（ペタンク大会）への参加，町内会費持参時に交わす地域住民との会話の際に日頃から鶴心寮を見守ってくださることへ感謝を伝えている。</p> <p>母と子が希望する，地域生活のイメージを支援の中で丁寧に聞きながら，自立の基盤が整えられるように支援にあたる。</p> <p>母子生活支援施設倫理綱領を受けて，所内研修で『鶴心寮の理念』について考えた。次年度はそれをもって支援で立ち返ることができるようにしていきたい。</p>
(3) アンケート結果の概要	<p>アンケートは実施していない。利用者の自治会である親の会，子どもの会で毎月，直接，意見や要望を聞く機会を設けている。また，意見箱を設置しており，入所者の要望や質問に随時対応している。</p>

3 施設の利用状況

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	世帯	4	5	5	5	4	4	4	4	5	5	6	6	6
入寮	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
退寮	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2

(世帯：各月初日在籍世帯数 入・退寮：当該月中の入・退寮世帯数)

・入寮状況：入寮 3世帯，退寮 2世帯

・一時保護実施状況：(県) 1世帯 (市) 2世帯

(1) 利用実績

(2) 事業の内容

- 自立支援業務
 - ・自立支援計画策定・再評価(利用者との面談により実施)
 - ・就労支援(情報提供，ハローワーク同行，保育)
 - ・生活支援(通院同行，登校支援，各種手続支援，家計管理，買物同行，健康管理等)
 - ・子育て支援(養育相談，緊急時や母のストレス軽減目的の保育等)
 - ・児童への支援(学習支援，遊びの支援，不登校児に対する支援，学校や児童相談所との連携)
 - ・その他，離婚・DV・家族間の問題に対する支援
 - ・アフターケア(行事への招待，来所・電話・訪問等による相談，就学支援，ビザ関係書類・契約書等の作成，一時預かり等)
 - ・臨床心理士によるケース会議，子どもの行動観察
- 行 事
 - ・親の会，子どもの会，災害訓練，児童個別の日(毎月1回)
 - ・誕生会(利用者該当月)
 - ・寮内健康診断(年2回)
 - ・年中行事，親子行事，自然体験行事等
- 一時保護等事業
 - ・県委託による緊急一時保護
 - ・市委託による緊急一時保護
 - ・トワイライトステイ
- 施設管理業務
 - ・施設・備品等の小修繕等による施設整備及び清掃・除草等による環境整備
 - ・消防設備，非常通報装置等機器及び夜間警備を委託により実施

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	35,851千円
	市からの指定管理料(委託料)	33,764千円
	母子家庭世帯緊急一時保護委託料	206千円
	経常経費寄付金収入	70千円
	その他の収入	1,811千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	33,907千円
	主な支出	
	人件費	25,404千円
	光熱水費	992千円
	施設管理委託費	4,124千円
	土地建物賃借料	600千円
	保険料	205千円
	教養娯楽費	291千円
	固定資産取得支出	337千円
その他経費	1,954千円	